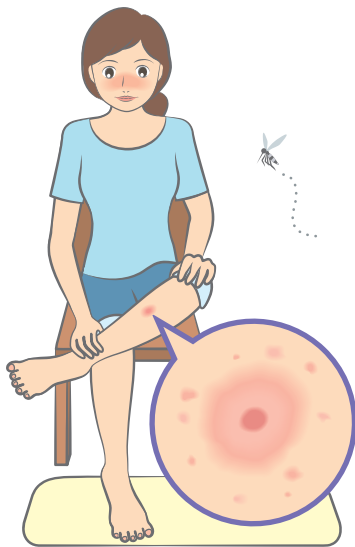


蚊に刺されたところが腫瘍になり発熱もあります
「蚊刺過敏症」の疑いがあります
立川皮膚科クリニック
www.tachikawa-derma.com

蚊刺過敏症の症状



蚊に刺された後、強い炎症により水疱ができ、なかなか治らない場合に、症状が表れます。原因は「EBウイルスの感染」について、日本皮膚科学会認定皮膚科専門医の立川皮膚科クリニック・伊東秀記院長に聞きました。

「一般的に蚊アレルギー」とも呼ばれる、蚊刺過敏症（ぶんしかびんしよ）の疑いがあります。蚊に刺された部位が腫れ、水疱から潰瘍となり、38度以上の発熱やリンパ節が腫れるといった全身に、抗炎症効果のある科を受診しましょう」

「治療法は？」

「刺された部分の治療には、一度、皮膚科を受診しましょう」

「同じような症状を何度も繰り返すようであれば、慢性活動性EBウイルス感染症」を併発している可能性が高く、より詳しい検査が必要になります。蚊に刺されて治らないときには一度、皮膚科を受診しましょう」

「原因は？」

「EBウイルスの感染が関与しています。小児期から思春期にかけて感染するヘルペスウイルスの一種で、通常は感染しても自然に排除されますが、持続感染状態の人がごくまれに蚊に刺されたとき、過剰な反応を起こすことがあります」

「同じような症状を何度も繰り返すようであれば、慢性活動性EBウイルス感染症」を併発している可能性が高く、より詳しい検査が必要になります。蚊に刺されて治らないときには一度、皮膚科を受診しましょう」

「注意点は？」

「同じような症状を何度も繰り返すようであれば、慢性活動性EBウイルス感染症」を併発している可能性が高く、より詳しい検査が必要になります。蚊に刺されて治らないときには一度、皮膚科を受診しましょう」

「注意点は？」

「同じような症状を何度も繰り返すようであれば、慢性活動性EBウイルス感染症」を併発している可能性が高く、より詳しい検査が必要になります。蚊に刺されて治らないときには一度、皮膚科を受診しましょう」

院長：伊東秀記
日本皮膚科学会認定皮膚科専門医、東京慈恵会医科大学医学部卒業、東京慈恵会医科大学皮膚科非常勤講師

問い合わせ
☎042-843-1377
JR「立川」駅南口徒歩2分



休診日：日曜、祝日

診療受付時間	月	火	水	木	金	土
9:30~13:30	○	○	○	○	12:30まで受け付け	○
15:00~19:30	○	○	○	○	18:30まで受け付け	17:30まで受け付け

2018年8月4日付 「リビング多摩」に掲載されました